



購読料 年8,000円
送料共 但し、会員は会費に含まれる
発行所
京都府保険医協会
〒604-8162
京都市中京区烏丸通蛸薬師上ル七観音町637 第41長栄カーニープレイス四條烏丸6階
電話 (075) 212-8877
FAX (075) 212-0707
編集発行人 久保 佐世

主な内容
医療研フォーラムにご参加を！ (2面)
理事提言・専門医不在での応召 (2面)
丹後半島の医療 (4面)

ご用命はアミスまで
◆医師賠償責任保険
◆休業補償制度 (所得補償、傷害疾病保険)
◆積立傷害保険
◆自動車保険・火災保険
上記事業は(有)アミスが取扱っています。
☎075-212-0303

開業医医療復権・京都宣言に向けて

開業医フォーラムで議論重ねる

第6回開業医フォーラムは、来る10月の保団連医療研究フォーラムで採択を目指す「開業医医療復権・京都宣言」に向け、京都協会としての政策分析・評価の到達を確認・整理し、会員諸氏との意見交換を深める機会と位置付け、6月25日に開催。参加者は20人となった。



宣言骨子を提案する垣田理事長

フォーラムでは、まず渡邊賢治副理事長より「ついに開業医医療復権！自由開業制見直し！の動き」と題し、「新専門医制度」をめぐる動き、厚労省の「医療従事者の需給に関する検討会」を通じて浮上ってきた「保険医定数制」や「自由開業制見直し」等、「医師に対する規制」について、最新の情報も踏まえつつ報告した。

基調発言では、「京都協会はなぜ、『開業医医療復権・京都宣言』をつくるのか？」と題して、垣田さち子理事長が発言した。

「日本の医療の何が良く、何が足りないのか。医療現場からの声を届けて議論に参加していきたい」と述べた。

最後に、吉村陽理事から、「市中の病院から医師が消えていく」問題があるとともに、協会が早くから指摘してきたように医師としての自由度が奪われていく危険がある。まだまだ議論を積み重ねていかなければならないと述べた。

京都府保険医協会では今、「ストップ!! 患者負担増」の署名活動を行っています。7月末現在、会員の



副理事長 渡邊 賢治

「9月中旬頃までに一旦集約したい」と存じます。会員の先生お一人だけでも構いません。署名していただき、協会までお送り下さい。署名用紙は本紙4月5日号に同封していただきました。ご連絡いただければお送りします。協会のホームページ(欄外にアドレス)からもダウンロードできますので、ご利用下さい。よろしくお願いたします。

「9月中旬頃までに一旦集約したい」と存じます。会員の先生お一人だけでも構いません。署名していただき、協会までお送り下さい。署名用紙は本紙4月5日号に同封していただきました。ご連絡いただければお送りします。協会のホームページ(欄外にアドレス)からもダウンロードできますので、ご利用下さい。よろしくお願いたします。

「開業医たちの戦後、保険医協会の原点を探る」と題して報告。国民皆保険が解体局面にある今こそ、「保険で良い医療」と「保険で良い医療」の確立を目指し取り組んできた保険医運動、さらには保険医協会の原点に光を当てようと、協会発足から国民皆保険の達成、制限診療の撤廃までを射程に、その歴史を俯瞰した報告を行った。

また、町の開業保険医は、出生から看取りまでを診る「かかりつけ医」であり、「家庭医」の役割を果たしている。なおかつ、専門医が地域で開業し、大病院に行かずとも、手軽に高

国民皆保険制度を定めた以上、国策として公的に運営されるのが本来の姿であるが、日本では医療提供は民間に任せられ、低医療費政策の下、医療者の献身的な努力の積み重ねで持ちこたえてきた。経営者でもある医師が、患者の求めに敏感に反応して、制度のコスト管理も請け負いながら診療している。

地域包括ケアシステムの要として、開業医にかかる期待は増しているようだが、現状の開業医への評価は結びついておらず、新たな医師養成の方向が模索されている。だからこそ、

7月10日の参院選で、自民・公明の与党が改選121議席を確保し、「改憲勢力」を合わせると3分の2を超えた。野党は共闘したもの、その後の未来を国民に示すことができなかった。

7月10日の参院選で、自民・公明の与党が改選121議席を確保し、「改憲勢力」を合わせると3分の2を超えた。野党は共闘したもの、その後の未来を国民に示すことができなかった。

景気回復ではと思ってしまう。消費税率が上げられないならば、法人税の引き下げも延期するのが自然ではないか。これでは、消費税での増収をすべて社会保障にあてるというのは建前で、法人税減税の穴埋めが消費増税なのかと疑ってしまう。

お金がない、お金がないといっているが、何かといたった時には、どこからともなくお金が出てくる。本に社会保障に対する財源がないのか。その点もせざるを得ない。医師限定参加のネットは最終的にはまともな判断に至らないだろう。医師限定参加のネット上であっても敵意ある議論のやりとりがなされないように希望する。そういう論調が漏れ広がることは、一般の方に正しくない思考を普通と思わせる危険があるのではないだろうか。(mykonos)